

[基本教育科目/表現力の養成]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語会話	NLA23_003	選択	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
堤 美智	413	michi.tsutsumi	水曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	この講義ではネイティブの英語を聞き取れるように「発音」に重点を置き、英語の耳作りと口作りをしていく。ネイティブスピーカーが普段使っている「話し言葉」を取り上げ、アクセントやリズム(音の強弱)を練習していく。				
学習上の助言	時事を英語で理解する。ネイティブスピーカーの英語を聞き取れる、表現できる。				
教科書	必要に応じて教材を配布する。				
参考書	英和辞典				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	音の連結(リエゾン)や音の消失(リダクション)を理解できるようにする。		HSU(2)		
②	日常会話を踏まえ、1つのかたまりのように「音の変化」を発音できるようにする。		HSU(2)		
③	英会話に積極的に参加することができる。		HSU(2)(4)		
④	自分自身のことや家族、友達などについて英語で描写することができる。		HSU(2)		
⑤	英語で道案内ができる。		HSU(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	英会話の学び方:英語力チェック	演習	英語を書ける準備をする。教科書を見て、今後の講義に備える。	1	
2	発音練習【t】・【d】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
3	発音【l】・【s】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
4	発音【s】・【g】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
5	発音【o】・【h】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
6	Exam1、第1回から第6回までの講評(1)	演習	テストから自分の弱い箇所を復習する。	1	
7	発音【v】・【a】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
8	発音【y】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
9	発音【Around the House】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
10	発音【At the Front Door】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
11	発音:母音 サシスセソ子音について 発音【Living Room】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
12	発音【連続する子音について】発音【Telephone】 電話にて会話をするときの発音を学ぶ	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
13	発音【変化するTについて】発音【語尾の消失について】発音【Around the Sink】	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
14	発音【Toilet Area】の発音を学ぶ	演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
15	EXAM2、第7回から第14回までの講評(2)	演習	これまでの小テストを学びなおす。	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

[基本教育科目/表現力の養成]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	25	0	25	100
総合 能力 指標	知識・技術力	0	0	15	0	0	15
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	20	0	5	0	0	25
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	25	25
問題を発見・解決する力		20	0	5	0	0	25
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	試験は授業内で2回行う。				試験の評価、教員よりの助言・コーチング
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①	✓	対面授業の場合は毎回、英文をノートに書き取りをし、受講者一人ひとり発音をし、そのご受講生全員で再度発音練習をする。				教員による発音チェックと助言・コーチング
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①		グループワーク・授業に対する貢献度と、毎回の発音練習、小テスト結果から鑑みる。				教員による助言・コーチング
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
備 考							
発音に重点をおき、日常の英単語等について学ぶ。 参加・コミュニケーション力を評価するため授業を欠席した日の評価は0点とする。 シラバスは将来変更される可能性があるため、注意すること。また感染拡大を防ぐために自身のマスクが必要になる。マスクをもっていない学生は入室不可。							